

国土交通省
同時発表

令和 5年 7月28日
四国地方整備局

水素を使用した発電装置の検証を行います ～「公共インフラ分野のGX」の取り組み～

国土交通省では、2050年カーボンニュートラルの実現のため、公共インフラ分野のGXに取り組みます。(GX: グリーントランスフォーメーション)

GX推進のため、化石燃料の代替手段として期待されている水素を使用した発電装置の検証を行います。

今回、検証のための発電装置を以下のとおり、技術公募します。

〈技術公募について〉

1. 公募期間 令和5年7月28日(金)から令和5年8月28日(月)
2. 公募要領、応募様式

業務受注者HP(<https://www.h2-koubo.ctie.co.jp>)よりダウンロード

なお、検証は四国地方整備局発注「令和5年度管理用電気通信設備カーボンニュートラル化検討業務」の受注者である株式会社建設技術研究所が行います。

「水素を使用した発電装置の検証」実施者

株式会社 建設技術研究所

TEL: 06-6206-5884 E-mail: h2-koubo@osaka-ctie.jp

※公募要領等の取得及び公募に関するお問い合わせは、業務受注者HP

(<https://www.h2-koubo.ctie.co.jp>)若しくは上記連絡先までご連絡ください。

〈問合せ先〉 国土交通省 四国地方整備局 企画部情報通信技術課 (◎: 主な問合せ先)

課長 沼尾 健太(ぬまお けんた) (内線 3351)

◎課長補佐 真鍋 孝久(まなべ たかひさ) (内線 3352)

TEL: 087-811-8313 (直通) FAX: 087-811-8413

水素を使用した発電装置の検証を行います

- ☑ 水素を使用した発電装置「可搬型燃料電池システム」を公募します。
- ☑ 応募の中から選定した「可搬型燃料電池システム」の検証を行います。

1. 背景・目的

国土交通省では、

- ・2050年カーボンニュートラルの実現
- ・電気通信技術ビジョン4で設定した「公共インフラ分野におけるGX」 の取り組みを推進

国土交通省では、河川や道路等のインフラ管理用電気通信施設の停電対策として、多くの非常用発電機を設置、災害現場等での電源確保のため、可搬型発電機を配備

※) 電気通信技術ビジョン4はこちらから (<https://www.mlit.go.jp/tec/it/vision/index.html>) ご覧いただけます

2. 課題と解決

課題: 化石燃料を使用した発電機では、運転時に二酸化炭素(CO₂)排出

解決策: 化石燃料の主要な代替手段として期待されている水素(H₂)を使用した発電装置を検討

3. 公募する発電装置の概要

